

中仙道 東 片 飛脚便 第4便

向丘一丁目中町会ニュース 平成16年1月25日発行 総務部会



新しい年を迎えて

山積する課題、皆さんの意見をよく聴きながら

会長 中島 幸夫

新年明けましておめでと
うございます。

今年のお正月は穏やかな
暖かい日和でしたので、
町会員の皆様方も日頃の
ご苦勞を癒され、心静か
に新年を迎えられたこと
と思います。

日頃から、何かと町会
活動にご協力いただき本

当にありがとございま
す。先ずは改めて心から
お礼申しあげます。

早いもので、昨年五月
の総会で会長を仰せつか
り、「お引き受けした以上
は精一杯」とスタートし
てから、すでに八ヶ月が
経過しました。この間、
「開かれた町会、真に皆
様のお役に立つ町
会」を念頭に役員の方
々々とともに創意・
工夫を加えながら会
運営を進めてまいり
ました。

振り返ってみます
と、役員会をはじめ
とする各種会合のも
ち方、行事の見直し、
会計面を中心とする
情報公開等々、町会
と会員との結びつき
を強めていくための
活動を、まだまだの
感がありますが、随
分と前進できたので
はないかと思えます。

例えば、最近の動
きとして恒例の新年

会は、会場の
設営に工夫し
たり参加の呼
びかけに努め
たりして、日
頃お顔を合せ
ることのなか
つた多くの
方々のご参加
をいたたくな
ど、和やかな
うちにも意義
のあるお集ま
りにすることが
できました。
また、こうし
てご挨拶を書
かせていただ
いているニースの発行
も前進の一つと言ってよ
いかと思えます。

迎えた新年も、景気回
復がいま一つというなか
で、町会活動にとつても
課題が山積しています。
大きな行事として恒例の
お祭りがあります。ぜひ
皆様の物心両面のご理解
ご協力を得てたくさんの
方のご参加により有意義
に挙行させていただきます
いと願っています。「何が
あってもおかしくない」
世情のなかで防犯・防災
には引き続き警戒心を培

初顔合わせの人も打ち解けて和やかに

中町会新年会、新趣向を凝らして開かれる

今年の新年会は、会長の活動内容の見直し方針に
より、白山上の『藍屋』を会場に、婦人部の協力で
1月12日(月) 午後6時から開かれた。

中島会長の簡明な新年挨拶、藤生前会長の乾杯の
発生により開演。例年より多い27名の町会員の参
加で大変和やかに、楽しく進行し、最後に記念写真
(左上)の撮影が行われ、8時過ぎにお開きとなった。

《参加者の声》

久しぶりに会えて昔話に花が咲いた(6中OB) / こ
ういう雰囲気の家なら来年も参加したい(初参加者)
/ 久しぶりに参加したがとても楽しかった。女性が
正装で、見直した。コンパニオンは要らない(おじ
さん) / 焼酎のお湯割をタップリ呑めた(酒飲み) / 食
事も美味しかった。飲み物代の支払いが心配だった(会
計担当) / 会費安い、春から得た気分(参加できな
かった人にはご免なさい) / 後片づけの心配がなくゆ
っくり楽しめた(婦人部)

行事報告を兼ねて

つていくことが求められ
ています。少子・高齢化
がさらに進みます。この
ことは、町会活動の見直
しの課題をこれまで以上
に大切なことにします。
さらに、もう皆さんも
耳にされ関心をもたれて
おいでのことと存じます
が、文京区による向丘寿
会館の廃止という問題が
進行しています。こうい
う問題に町会としてどう
関係していけばよいのか
どう対応していかなければ
ならないのかという点つい
ても、ぜひ皆さんとも

に考えてまいりたいと思
います。他にもまだまだ
残された課題があると思
いますが、町会員皆様の
ご意見をよく聴きながら
役員一同で力を携えてこ
れらの課題に対処し、明
るく住みよい町づくり
に努めてまいりたいと決意
を新たにしております。
どうぞ引き続きご協力の
程からお願いたします。
本年が皆様にとつて幸多
い年となりますようお祈
り申しあげ年頭の所感と
させていただきます。

文京区政にご関心を

寿会館、向丘会館のことなど

ご存知かと思いますが、文京区で『新行財政改革推進計画』（別称『新生文京いきいきプラン』）という計画が進められています。この計画は、概要、本年度からの五カ年計画、目標、五年間で九〇億円の歳出削減方策、人件費の削減、寿会館や区民保養所等の維持管理費の削減、施設

の売却を進めるというものです。そのため

区民へのサービス提供のあり方に見直しを加え、例えば、中町会の住民にとつて最も影響を及ぼすことだけに絞ってみても、向丘寿会館を廃止（入浴施設も）し、他の用途での有効活用または売却する。向丘会館を『地域交遊館』（仮称）に転換する。その他既存の区有施設も整理・縮小・転換・売却

あるいは業務を民間業者に委託するなど多方面にわたっています。以下は、私見ですが、

これまで区民が受けてきた区民サービスが大幅に低下する、とくに高齢者の方々にとつてその度

行事報告

合いが大きい、地域住民に対して昨年『素案』の段階で説明会が一回行われましたが、不十分でした。再度説明が必要

中町会点描 町会御輿の遍歴

ホームレス御輿に念願のマイホーム!!!

当町会のお御輿は昭和54年9月24日、水上会長時代に大口副会長のつてにより根津祭友会から格安で購入されました。神社に空き庫がなく翌55年9月まで水上製本所の追分倉庫に置かれていましたが、都合により同月から昭和61年9月までの6年間、荒川区町屋の川越木工所に無料で保管されていました。ここもまた木工所の都合により同月から平成3年8月までの約5年間、ペンキ屋の荒井さんの世話で松戸の杉浦家納屋に収められていました。その間、大口副会長が機会ある度、神社側に御輿庫用地を貸してくれる様交渉して来た事が功を奏し、内海一紀現宮司殿のご好意により、神社専用祭器庫（13号庫）の一部を貸与していただき、現在に至っております。ここにきて遷宮三百年記念事業に伴い町内御輿庫新築工事が計画され、11月1日の総代委員会に於いて当町会に約3畳ほどの専用庫の割り当てが決定し、平成17年夏頃着工・18年完成予定の運びとなりました。当町会のお御輿も購入より27年目にしようやく安住の場「向丘一丁目中町会御輿庫」に落ち着く事になった次第です。

根津神社や町会祭器具の由来等は別の機会にします。

区職員の人数削減・業務の民間委託による区財政の効率化をはかることが主眼になっているので

が、職員の仕事の低下や業務委託・非常勤職員の活用等による新たな歳出の増加が生じるのは目に見えており、その点でも疑問を残す計画と言わざるを得ません。こうした文京区政の動きに、区民として関心を強めるとともに、町会活動としても町会員の意見を聞くなどして、その結果を区に反映していくことが必要なのではないでしょうか。

（文責・青少年部・橋本）

今後の行事予定

根津神社節分祭

一月三日 「年男・年女」参加料 七千円

親子で楽しむ集まり

一丁三月中 青少年部

新入学児童お祝い

三月中旬 根津神社

いずれも詳細は追ってご連絡します。

歳末夜回り

平成十五年の歳末夜回り、十二月二十五日

三十日までの六日間延

べ七十四名の参加を頂き、根津消防署、本富士警察署長の来訪を受け予定通り実施されました。犯罪多発のため、安心して住める町への復帰は行政の重点目標ですが、防犯防災の原点は町会活動等にあることは言を俟たないことです。町会員が連体意識の向上をはかることが大切であることに強く感じました。

今回も寒いなかご参加いただいた皆様、ご寄付いただいた会長、国光様、久保様ありがとうございました。（予算・三万円、実施費用一三、三九三円 防犯部長 石原）

中町会新年会

一面で既報の通り。初めてお顔を合せる方の参加が特徴でした。

事務費（諸負担金）支出状況

つづじまつり打ち上げ費 一〇、〇〇〇円

歳末助け合い募金 二〇、〇〇〇円

文京区町会連合会新年会費 五、〇〇〇円

向丘地区町会連合会新年会費 八、〇〇〇円

中町会新年会補助金

原稿募集

一三、五〇〇円
本富士防犯・交通台同新年会費 一〇、〇〇〇円
面白いニュース、待たれるニュースにしていたために、皆様からの原稿をお待ちしています。町会への要望、意見、こんな事をして欲しい、こんな趣味をもってる等々、なんでも結構です。お忙しいなかですが、いつ時、机・パソコンに向かっていたら筆をとりキーをたたいてください。